

県立飯能高校 <<活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）>>

課程	全日制課程	学科	普通科	R5.5.1 生徒数	(男) 325 (女) 408	計733人 (本校舎)			
アクセス	飯能駅から徒歩12分、東飯能駅から徒歩15分								
<目指す学校像>									
地域と協働した探究的な学びを通して、社会に貢献できる人材を育成し、生徒・保護者・地域から信頼される進学を重視した学校									
<教育課程等> ※1									
<ul style="list-style-type: none"> ○単位制を導入し、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望に応じた多様な選択科目を設置する。 ○教科・科目を超えた教科横断的な学びを推進し、学校内外での発表・討論等の機会を積極的に取り入れる。 ○総合的な探究の時間、地域の学校との連携、少人数によるグループ活動等において、ICTを活用し、主体的・対話的で深い学びを実践する。 ○地域の歴史や文化、魅力ある観光資源および産業資源等を活用した探究的な学びを推進する。 ○小・中学校や大学等との連携を進め、地域を愛する心を育む継続的な教育体制を確立する。 ○地域の友好都市との国際交流や英語の検定試験への受験等を通じて、英語4技能の向上を図る。 ○教育活動の到達度評価にルーブリックを取り入れ、生徒の学習改善や教員の指導改善を図る。 									
<本校が求める生徒> ※2									
<ul style="list-style-type: none"> ○単位制による教育内容を理解し、将来の進路希望の実現へ向け、高い目標を持ち、学業に真摯に取り組む意欲のある生徒 ○地域と協働した探究的な学びについて興味・関心を持ち、積極的に取り組む意欲のある生徒 ○学校行事や部活動、地域との交流などに仲間とともに積極的に取り組む意欲のある生徒 									
<学校行事>									
<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭（6月）・・・各クラス団結し、優勝を目指します。 ○文化祭（9月）・・・2日間で行います。入口のアーチが恒例となっています。 ○修学旅行（10月）・・・2年次に実施します。令和4年度は北海道。 ○ウォーク21（11月）・・・飯能の大自然を満喫しながら奥武蔵を歩きます。 ○球技大会（12月）・・・学年ごとで実施し、交流を深めます。 									
<部活動>									
<p>運動部：弓道、剣道、サッカー、卓球、ソフトテニス、バスケットボール（男・女）、バドミントン、バレーボール（女）、ホッケー（男・女）、野球、陸上競技</p> <p>文化部：家庭科、環境科学、芸術（書道、美術、写真）、吹奏楽、探究、チアダンス、伝統文化（箏曲、茶道、華道）、マルチメディア（パソコン、放送）</p> <p>【主な実績（令和4年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国大会出場：ホッケー（男・女）、チアダンス 関東大会出場：弓道 県大会出場：卓球、バスケットボール（男）、バドミントン、陸上競技 									
<家庭・地域との連携>									
<ul style="list-style-type: none"> ○保護者を対象とした学校公開・保護者進路勉強会を実施している。 ○駿河台大学、武蔵野短期大学と連携し、彩の国アカデミーとして単位認定している。 ○飯能商工会議所、飯能市役所等と連携し、進学模擬面接、就職模擬面接を実施している。 ○生徒が地元小学校へ学習ボランティアに参加している。 									
進路	R5.3 卒業生 (本校舎)	四大	81人	短大	25人	専門	61人	就職	41人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学者が年々増加している。 ・明治大、青山学院大、中央大、学習院大等に挑戦し、合格している。 ・飯能及び周辺の地元優良企業への就職が安定している。 							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

令和5年度 埼玉県立飯能高等学校 育成方針



本校の特色

- ・単位制を導入し、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望に応じた多様な選択科目を設置
- ・一人ひとり最後まで伸ばし続ける面倒見の良い進路指導、特進クラスでは難関私大・国公立大への進学に対応
- ・探究的な学びを通し、課題解決のために行動できる、これからの時代に貢献できるリーダーを育成
- ・日常的にタブレットなどのICTを活用し、より意欲的・効果的に学べる授業の実施

1年次

2年次

3年次

学校生活

○基本的生活習慣の確立

一日の始まりを朝学習からスタートし、高校生活の基本となる生活習慣を身に着けます。

○基礎学力の向上

学習の基礎となる科目を中心に置き、授業では対話的活動などを多く取り入れ、生徒の基礎学力を身につけていきます。

特進クラスでは、発展的な内容にも取り組み、一年次から受験に向けた力をつけていきます。

○希望進路に沿った科目選択

自分の学びにあった時間割を自分で作ります。19の科目から、希望進路に沿った科目を選択します。

生徒が希望進路に合った科目選択をするよう、教員が面談等を行うなど丁寧にサポートします。

○進路意識の向上

進路講演会や大学のオープンキャンパスなどに参加し、進路意識を高めていきます。

○進路実現に向けた科目選択

53の豊富な科目の中から、進路実現のために必要な科目を選択します。

少人数の授業で、個々の進路や能力に応じた授業を受けられます。

○大学入試への対応

大学進学に向けた補講や小論文・面接指導を受け、行きたい大学への合格を掴みます。

教員は最後まで丁寧に支援する「面倒見の良い」進路指導を行います。

進路実現

探究

○本校の特色の一つである探究活動を推進し、地元飯能の歴史や文化、観光資源等を活用して課題解決のための学びを深めます。

自己分析

対話をしながら人との関係性を築いたり、自己との対話を通して「自分は何をしたいのか」と向き合ったりする中で、進路へのイメージを明確化していきます。

課題設定・情報収集・整理分析・表現

地域や社会の課題を自分事として捉え、探究のサイクルを意識しながら解決策を考えることで、問題解決能力等を育成します。

個人の興味関心に応じて、専門的な視点から社会課題について探究します。学問と社会とのつながりをより深く理解し、社会人に必要な資質能力を育成します。

生きる力の育成

その他

○ICT教育 当たり前のように、日常的にタブレットなどのICTを使い、効率的な授業で学力向上を図ります。Google for Education を用いて生徒自身が意欲的にプレゼンを行うなど、生徒の情報活用能力を育成します。HR教室以外にも、体育館や特別教室でもWifi環境が整っており、校内どの場所においてもICT教育を行います。

○部活動 運動部・文化部、様々な部活動を設置し、生徒自らの課題を設定するなどパフォーマンスの向上を目指します。

○充実した施設 令和5年度新設の「ICT室」、「アクティブラーニング室」は、グループワークやブレインストーミングのできる施設です。また、同じく新設の「ラーニングcommons（自習室）」は、カフェのような落ち着いた環境で自習するための施設であり、グループワークスペースやラウンジスペースもあります。